

2016 年 12 月 15 日

報道関係各位

*** 2017 年（平成 29 年） ***

ビジネスマン・OLの年賀状に関するアンケート調査

株式会社パイロットコーポレーション

日本独特のお正月の習慣として、また、普段会えない人へのコミュニケーション手段として、私たち日本人にとって欠かすことのできないのが年賀状のやりとり。当社では、日本人の書き文字文化の象徴とも言える年賀状をテーマに、毎年『ビジネスマン・OLの年賀状に関するアンケート調査』を行っています。今回で 37 回目となる本調査は、首都圏のビジネスパーソンを対象に、11 月 4 日（金）から約 2 週間にわたり調査を実施いたしました。調査結果の詳細につきましては、次ページ以降をご参照ください。

報道関係者からのお問い合わせ先

株式会社パイロットコーポレーション

Tel. 03-3538-3700

〒104-8304 東京都中央区京橋 2-17-5

【アンケート実施概要】

調査期間 : 2016 年 11 月 4 日(金)～11 月 21 日(月)

サンプル数(概数) : 418 人

年代別サンプル比 :

年齢	男性	女性	合計
20 代	35	70	105
30 代	61	80	141
40 代	43	38	81
50 代	27	26	53
60 代	20	18	38
計	186	232	418

調査対象 : 首都圏の企業・団体等に勤務する 20 代～60 代のビジネスパーソン

調査方法 : 質問用紙の配付・回収による無記名留置調査

- * 集計データのうち、注釈なきものは、すべて単数回答を百分率化しました。
- * 複数回答可の設問では、合計値が 100(%)を超えます。

【アンケート集計概要】

1. 年賀状を「出す」人、2014 年以來の 7 割台に。年賀状を出さない人でも多くの人がメールや SNS で新年のあいさつをしている様子。年賀状を「出す」人は、12 月中旬までに年賀状を用意している。
2. 新年のあいさつに使うツールは「年賀状」。「LINE 等メッセージアプリ」や「SNS」が「メール」を上回る。
3. 年賀状を出す枚数は平均「56 枚」、年賀状をもらう枚数は平均「46 枚」。「1 月 7 日の松の内までにもらいたい」と思う人が半数以上。
4. 年賀状を出す相手は「友人・知人」。出たくないのは「仕事関係」で、数値も昨年より増加傾向に。
5. 9 割以上の方が年賀状をもらって「うれしい」と感じている。もらった年賀状で気になる箇所は、自分にあてられた「メッセージ」。もらった年賀状は 4 割の人が「ずっと保管しておく」
6. 年賀状に手書き箇所がある人は 9 割以上。年賀状を手書きすることで気持ちを伝えたい。手書きには「ボールペン」が主流。
7. 「年賀状はあったほうがいい」人が約 8 割。「なくてもいい」人の理由は、「出す出さないを悩まないですむから」。SNS で代用という声も多数。

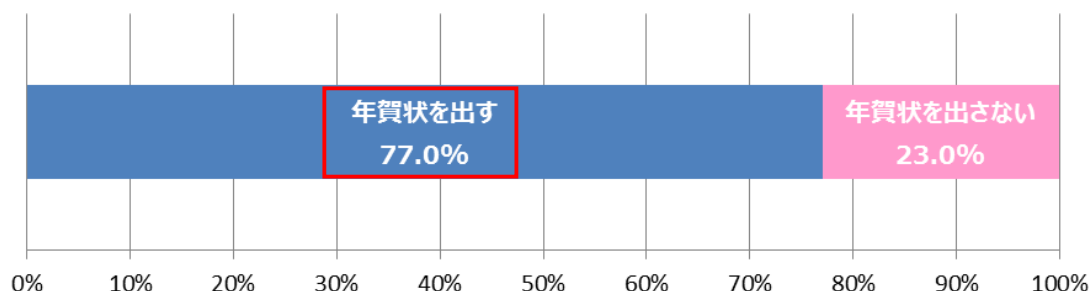
1. 年賀状を「出す」人、2014 年以來の 7 割台に。年賀状を出さない人も多くの人がメールや SNS で新年のあいさつをしている様子。年賀状を「出す」人は、12 月中旬までに年賀状を用意している。

2017 年の年賀状を出すかどうかを尋ねた＜年賀状の予定 1-①＞では、「出す」と答えた人は 77.0%に留まり、当社の調査において最も低い数値となりました。

＜年賀状を出す理由 1-②＞は、「新年のあいさつとして」(77.0%)、「日頃の無沙汰」(44.1%)、「世話になった人への儀礼」(36.0%)が上位になり、新年の挨拶はもちろん、日頃のお礼などに年賀状を使っていることがわかります。一方、＜年賀状の予定 1-①＞で、年賀状を「出さない」と答えた人に＜年賀状を出さない理由 1-②＞を聞いてみると、「準備が面倒」(52.1%)、「メールで代用」(41.7%)、「SNS で代用」(35.4%)という声があがりました。年賀状を出すことを面倒だと考えている人が多いものの、メールや SNS で代用するという意見も多く、なんらかの形で新年のあいさつをしている人が多いようです。

また、年賀状を「出す」人に＜年賀状をいつ頃までに用意しているか 1-③＞を聞いたところ、6 割以上が「12 月中旬までに」(67.7%)と答えました。一方で、「正月」(2.8%)、「年が明けてから」(2.5%)と、年が明けてから年賀状を用意する人もいます。

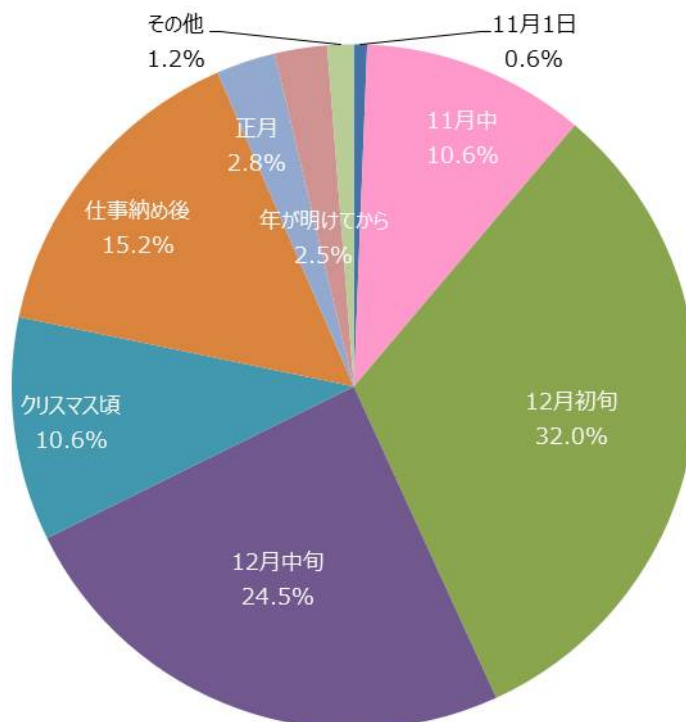
＜年賀状の予定 N=418＞1-①(単一回答)



＜年賀状を出す理由 N=322／出さない理由 N=96＞1-②(複数回答)

出す理由		出さない理由	
第 1 位	新年のあいさつ (77.0%)	第 1 位	準備が面倒 (52.1%)
第 2 位	日頃の無沙汰 (44.1%)	第 2 位	メールで代用 (41.7%)
第 3 位	世話になった人への儀礼 (36.0%)	第 3 位	SNS で代用 (35.4%)
第 4 位	毎年、年賀状をもらうので (25.5%)	第 4 位	出す習慣がない (20.8%)
第 5 位	近況報告 (21.7%)	第 4 位	年賀状をもらってもうれしくないから (20.8%)
第 6 位	親しさを表すしるしとして (17.4%)	第 4 位	相手の住所がわからない (20.8%)
第 7 位	習慣で・なんとなく (16.8%)	第 7 位	出す相手がいない (16.7%)
第 8 位	手紙をやり取りする貴重な機会 (15.5%)	第 8 位	忙しくて準備できない (12.5%)
第 9 位	義理で・しがらみ (11.8%)	第 9 位	喪中 (12.5%)

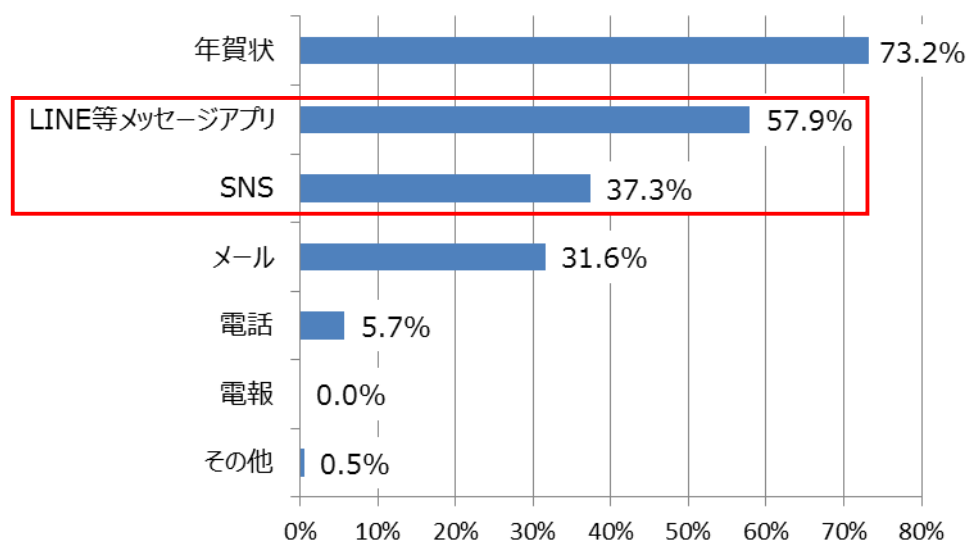
＜年賀状をいつ頃までに用意しているか N=322＞1-③(単一回答)



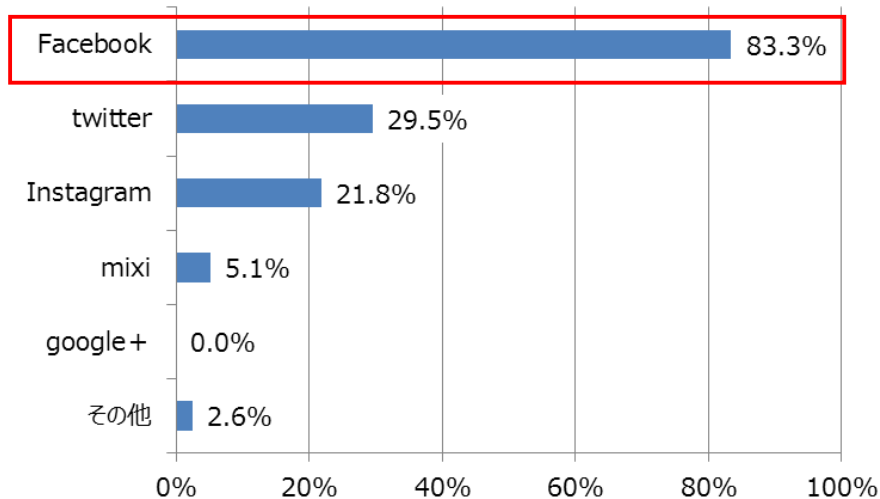
2. 新年のあいさつに使うツールは「年賀状」。次いで「LINE 等メッセージアプリ」や「SNS」が「メール」を上回る。

＜新年の挨拶で活用するツール 2-①＞について尋ねたところ、1 位は「年賀状」(73.2%)で、新年の挨拶に活用するツールとしての支持を得ました。次いで、「LINE 等メッセージアプリ」(57.9%)、「SNS」(37.3%)、「メール」(31.6%)が続きました。前回の調査では「メール」が2 番手でしたが、LINE や Facebook 等が普及し、新年のあいさつに活用しているようです。実際に＜新年の挨拶で使う SNS 2-②＞を聞いてみると、「Facebook」(83.3%)と圧倒的で、次いで「twitter」(29.5%)、「Instagram」(21.8%)と続きました。

＜新年の挨拶で活用するツール N=418＞2-①(複数回答)



＜新年の挨拶に使う SNS N=156＞2-②（複数回答）

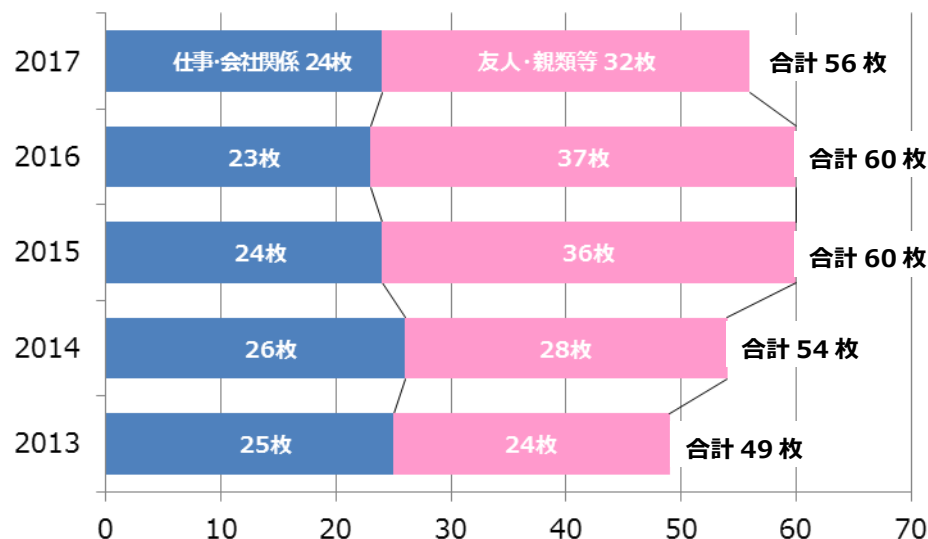


3. 年賀状を出す枚数は平均「56 枚」、年賀状をもらう枚数は平均「46 枚」。「1 月 7 日の松の内までにもらいたい」と思う人が半数以上。

＜年賀状を出す枚数 3-①＞は、昨年の「60 枚」から減らして、平均「56 枚」となりました。

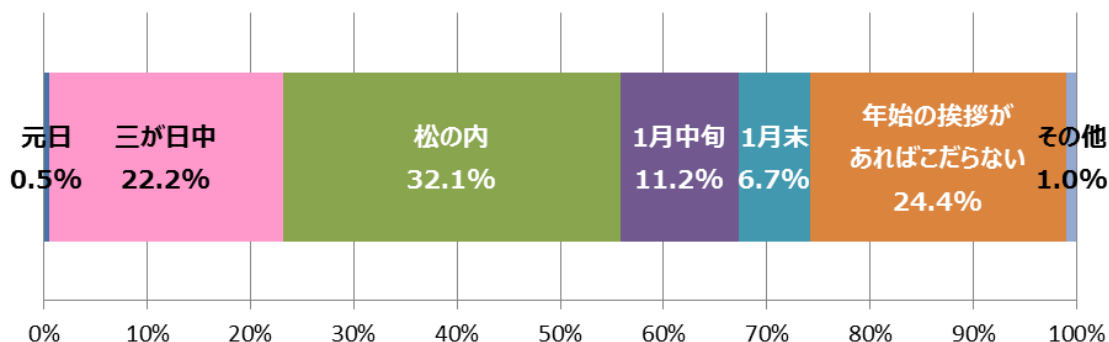
その内訳は、「友人・親類等」が「32 枚」、「仕事・会社関係」が「24 枚」でした。＜年賀状をもらう枚数＞についても、昨年から減少し、平均「46 枚」となりました。昨年は出す枚数がもらう枚数より「13 枚」多い結果でしたが、今年は「10 枚」と差が縮まりました。なお、今回の調査での年賀状を出す最多予定枚数は 40 代男性の「350 枚」で、もらう枚数の最多は 20 代女性の「360 枚」でした。

＜年賀状を出す枚数 N=322＞3-①（数値自由回答）



くどの時点までに届くものが年賀状か 3-②>の質問では、「元日」(0.5%)、「三が日中」(22.2%)、「松の内」(32.1%)で、半数以上の人「元日～1月7日の松の内まで」(54.8%)に届くものが年賀状と思っていることがわかりました。一方で、「年始の挨拶があれば可だわらない」(24.4%)と答える人も多く、時期に可だわらないという人もいるようです。

くどの時点までに届くものが年賀状か N=418>3-②(単一回答)



4. 年賀状を出す相手は「友人・知人」。出したくないのは「仕事関係」で、数値も昨年から軒並み増加傾向に。

く年賀状を出す相手 4-①>は、昨年と変わらない順位で、「友人・知人」(87.6%)、「親類」(68.9%)、「会社等の上司」(47.2%)が上位に入りました。一方で、くできれば年賀状を出したくない相手 4-②>は、約半数が「出したくない人はいない」(51.2%)と答えました。次いで、「会社等の上司」(31.6%)、「会社等の同僚」(21.5%)が続きました。「取引先」(12.0%)、「部下」(11.0%)も続き、2016年の調査と比べて、いずれも大きくポイントを伸ばしました。

く年賀状を出す相手 N=322>4-①(複数回答)

2017 年		2016 年	
第 1 位	友人・知人 (87.6%)	第 1 位	友人・知人 (85.9%)
第 2 位	親類 (68.9%)	第 2 位	親類 (74.3%)
第 3 位	会社等の上司 (47.2%)	第 3 位	会社等の上司 (50.0%)
第 4 位	会社等の同僚 (41.0%)	第 4 位	会社等の同僚 (39.3%)
第 5 位	恩師・恩人 (27.3%)	第 5 位	恩師・恩人 (32.5%)
第 6 位	学生時代の先輩・後輩 (23.6%)	第 6 位	学生時代の先輩・後輩 (32.0%)
第 7 位	取引先等 (20.5%)	第 7 位	取引先等 (31.6%)
第 8 位	部下 (9.9%)	第 8 位	部下 (9.2%)
第 9 位	年賀状友達 (3.7%)	第 9 位	年賀状友達 (8.7%)
第 10 位	彼・彼女 (1.9%)	第 10 位	彼・彼女 (3.9%)

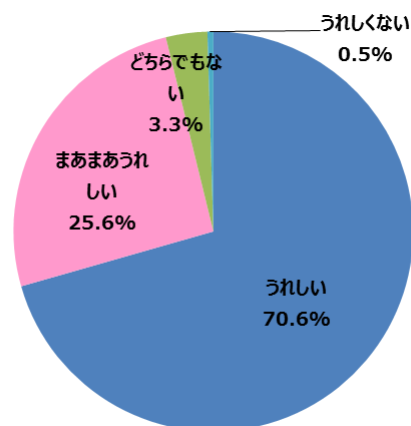
＜できれば年賀状を出したくない相手 N=418＞4-②(複数回答)

	2017 年		2016 年
第 1 位	出したくない人はいない (51.2%)	第 1 位	出したくない人はいない (48.0%)
第 2 位	会社の上司 (31.6%)	第 2 位	会社等の上司 (21.3%)
第 3 位	会社の同僚 (21.5%)	第 3 位	会社等の同僚 (13.5%)
第 4 位	取引先 (12.0%)	第 4 位	取引先 (11.1%)
第 5 位	部下 (11.0%)	第 5 位	部下 (7.0%)
第 6 位	親類関係 (5.7%)	第 6 位	親類関係 (6.6%)
第 7 位	年賀状友達 (3.8%)	第 7 位	年賀状友達 (5.7%)
第 7 位	その他 (3.8%)	第 8 位	彼・彼女 (2.0%)
第 9 位	友人・知人 (1.4%)	第 9 位	友人・知人 (1.2%)
第 9 位	恩師・恩人 (1.4%)	第 9 位	学生時代の先輩・後輩 (1.2%)

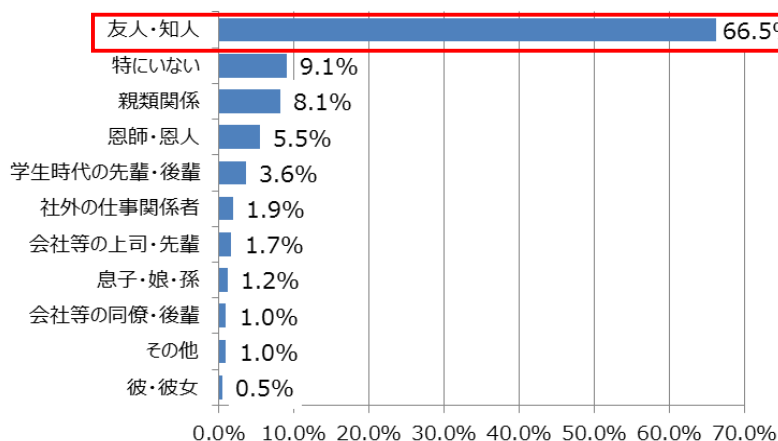
5. 9 割以上の人年賀状をもらって「うれしい」と感じている。もらった年賀状で気になるのは、自分にあてられた「メッセージ」。もらった年賀状は 4 割の人が「ずっと保管しておく」

＜年賀状をもらってうれしいか 5-①＞について聞くと、「うれしい」(70.6%)、「まあまあうれしい」(25.6%)と合計で9割以上の人年賀状をもらうと「うれしい」と感じていることがわかりました。また、誰からもらうとうれしいか、＜年賀状をもらって一番嬉しい相手 5-②＞を聞いてみると、＜年賀状を出す相手＞と同様に「友人・知人」がトップで、2 位以下に大差をつけました。

＜年賀状をもらってうれしいか N=418＞5-①(単一回答)

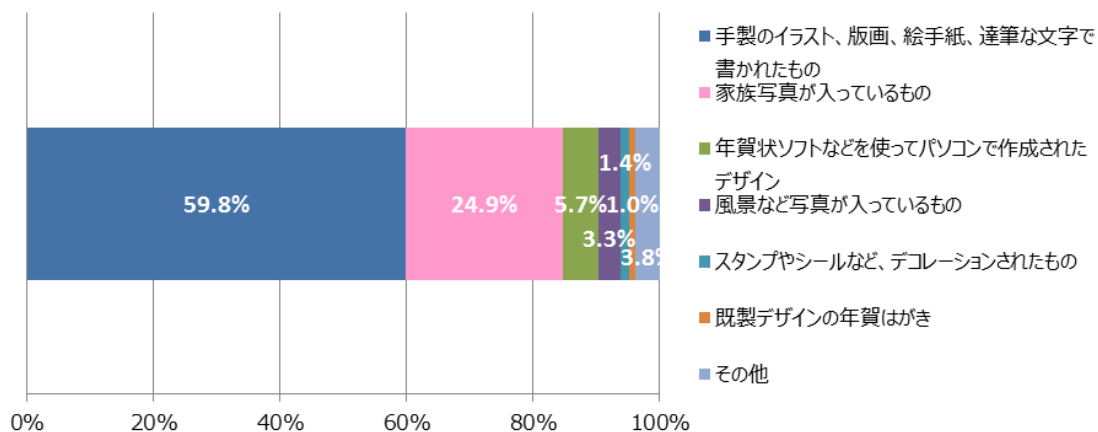


＜年賀状をもらって一番嬉しい相手 N=418＞ 5-②(単一回答)



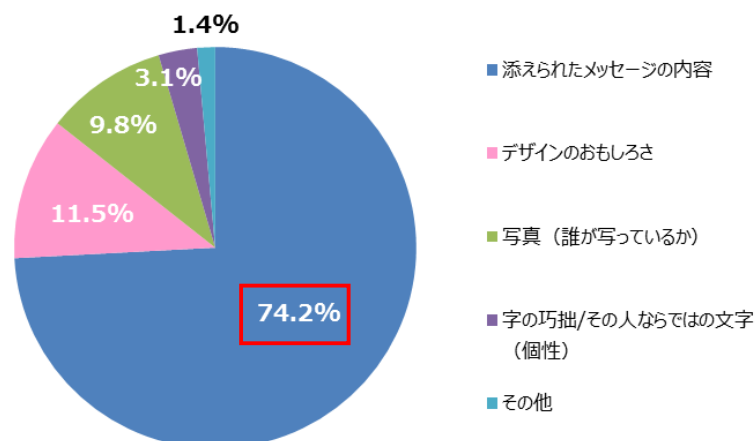
また、実際にもらう年賀状はどのような年賀状がうれしいか、＜もらって一番嬉しい年賀状のタイプ 5-③＞を聞くと、「手製のイラスト、版画、絵手紙」(59.8%)が、半数以上もの人から支持を得ました。また、「家族写真が入っているもの」(24.9%)と答える人も多く、普段会えない人の近況が伝わる年賀状がうれしいようです。

<もらって一番嬉しい年賀状のタイプ N=418> 5-③(単一回答)



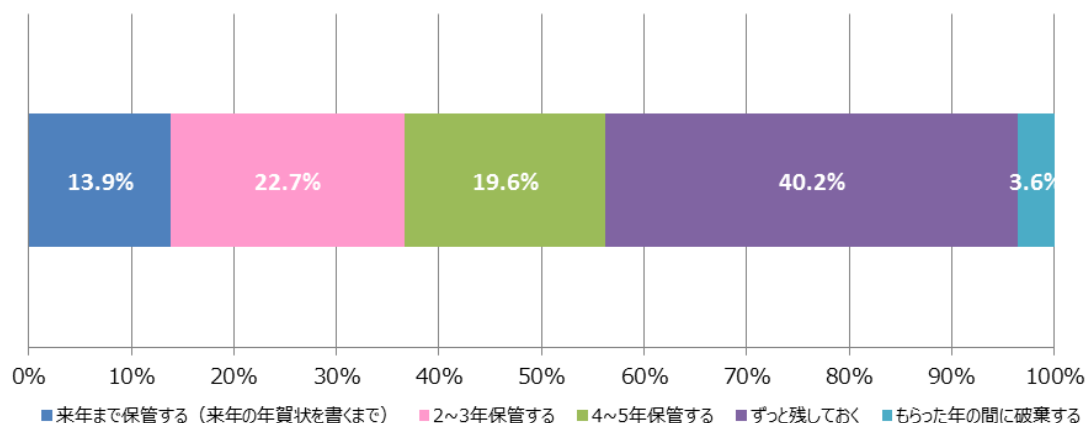
<年賀状をもらって一番気になるところは何か 5-④>を尋ねたところ、「添えられたメッセージの内容」が 74.2%で 1 位になりました。次いで、「デザインのおもしろさ」(11.5%)が入り、<もらって嬉しい年賀状 5-③>でも人気だった「写真」(9.8%)が続きました。

<年賀状をもらって一番気になるところは何か N=418> 5-④(単一回答)



また、<もらった年賀状をいつまで保管しているか>を聞いたところ、「ずっと残しておく」と答えた人が 40.2%でトップでした。もらった年賀状は大事にとっておく人が多いようです。

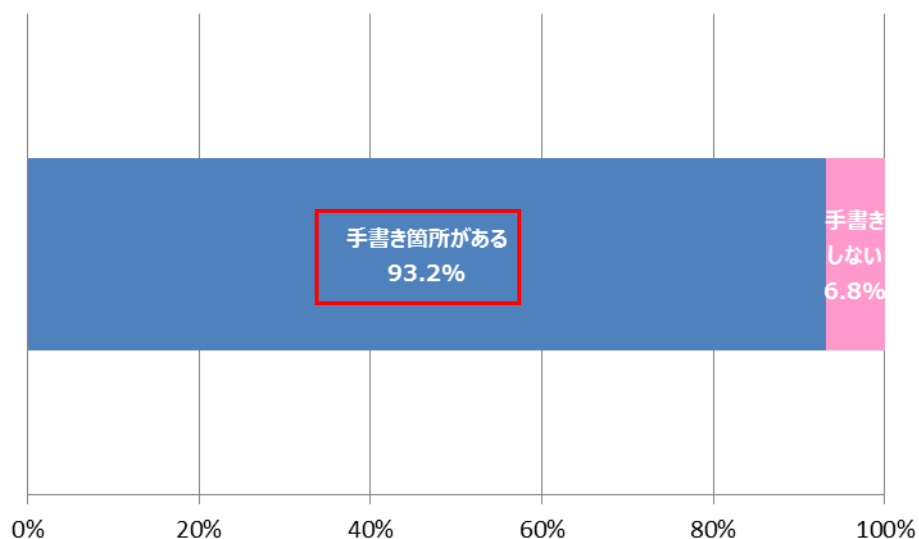
<もらった年賀状をいつまで保管しているか N=418> (単一回答) 5-⑤



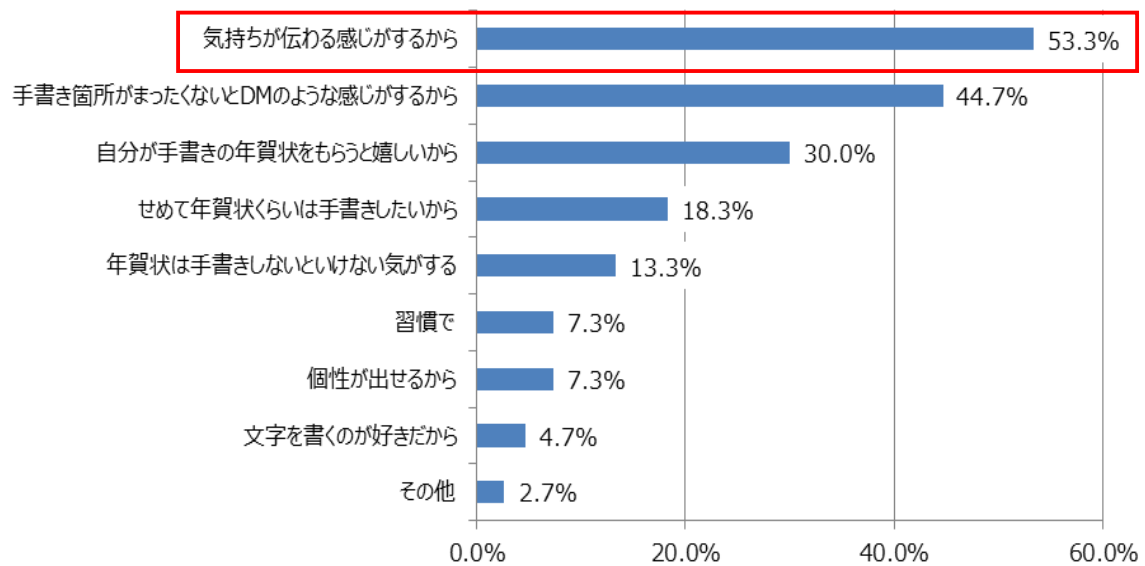
6. 年賀状に手書き箇所がある人は9割以上。年賀状を手書きすることで気持ちを伝えたい。手書きには「ボールペン」が主流。

＜年賀状の手書き箇所の有無 6-①＞を聞くと、93.2%の人が「手書き箇所がある」と答えました。「手書き箇所がある」と答えた人に対して、＜年賀状を手書きする理由 6-②＞を尋ねると、半数以上の人が「気持ちが伝わる感じがする」(53.3%)と答え、「手書き箇所がないとDMのような感じがするから」(44.7%)が続きました。年賀状を通じて、普段会えない人や世話になった人に気持ちを伝えたいと思う人は多いようです。また、＜年賀状の手書きに使う筆記具 6-③＞について聞いてみると、75.3%の人が「ボールペン」と答え、「サインペン」(28.7%)、「筆ペン」(22.7%)が続きました。

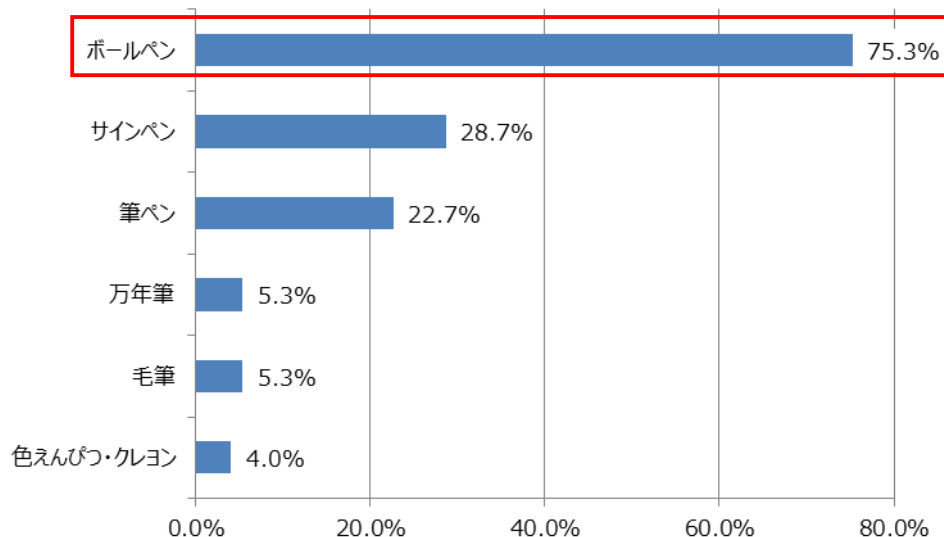
＜年賀状の手書き箇所の有無 N=322＞（単一回答） 6-①



<年賀状を手書きする理由 N=300>（複数回答） 6-②



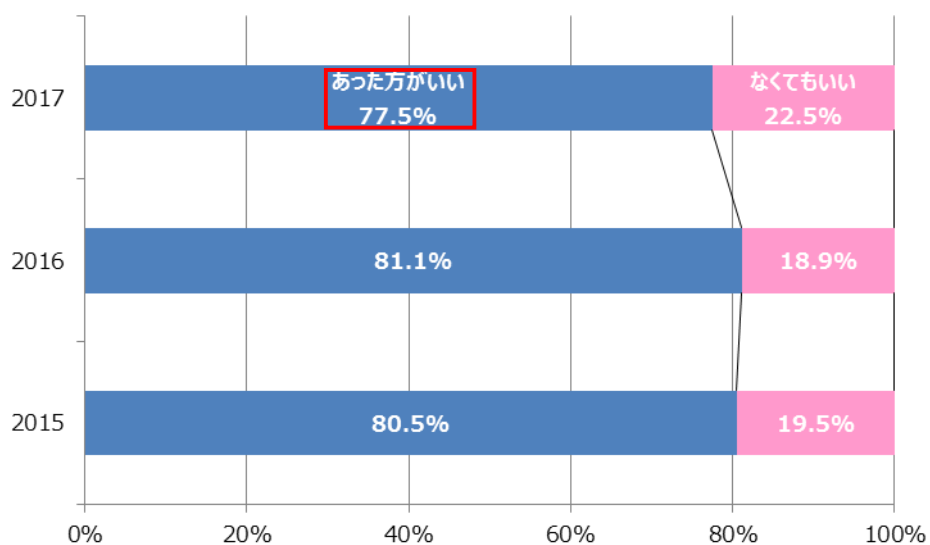
<年賀状の手書きに使う筆記具 N=300>（複数回答） 6-③



7. 「年賀状はあった方がいい」人が 8 割を切って減少傾向。「なくてもいい」理由は、「出す出さないを悩まないですむから」。SNS で代用という声も多数。

<年賀状があった方がいいか、なくてもいいか 7-①>について尋ねたところ、77.5%の人が年賀状を「必要」と答えました。「必要」と回答した人は、過去数年 8 割以上で推移してきたものの、2017 年は 8 割を割ってしまいました。<年賀状があった方がいいか、なくてもいいか 理由 7-②>では、「お正月らしくなくて寂しい」(48.1%)、「人との繋がりが途絶える」(48.1%)が年賀状を必要だとする理由の上位になり、お正月の習慣や人との繋がりを重視しているようです。一方、不要だと思う理由としては、「出す、出さないを悩まなくて済む」(57.4%)が 1 位になり、人間関係を悩まなくても済むことから不必要と感じているようです。「SNS などで代用する」(48.9%)も半数近くが回答し、年賀状の代用ツールとして活用されている様子がうかがえました。

＜年賀状があった方がいいか、なくてもいいか 7-①N=418＞（単一回答） 7-①



＜年賀状習慣があった方がいい N=324／なくてもいい N=94 の理由＞（複数回答） 7-②

あった方がいい理由		なくてもいい理由	
第1位	お正月らしくなくて寂しい (48.1%)	第1位	出す、出さないを悩まなくて済む (57.4%)
第1位	会えない人との連絡が途絶えてしまい困る (48.1%)	第2位	準備する手間が省けて楽になる (48.9%)
第3位	日本の伝統や独自の文化が衰退してしまいそうで心配 (42.0%)	第2位	SNSなどで代用する (48.9%)
第4位	年賀状をもらうと嬉しい (37.0%)	第4位	-
-	その他 (3.1%)	-	その他 (12.8%)